

大谷小中学校だより

NO.1

令和8年4月24日
珠洲市立大谷小中学校

ふるさとを基盤に人や社会とつながり未来を拓く児童生徒の育成

～自ら学び、課題を発見し、協働して解決することで未来を拓く力を持つ児童生徒～

校長 鎌田 香

生徒のみなさんに、「どんな時に春を感じますか。」と聞いたところ、「桜が咲いているのを見た時」「うぐいすの鳴き声を聞いた時」などという意見がすぐに返ってきます。自然が豊かな大谷に暮らしている児童生徒の皆さんは、自然の移り変わりで季節を感じているようです。とてもすてきなことだなと思います。自然の豊かさが心の豊かさにつながっていることを実感します。

今年も、4月7日から15日まで交通推進隊の方や警察署の方、児童民生委員の方、市役所の職員の方と共に学校前の横断歩道で生徒の登校の見守りを行いました。様々な方に暖かい眼差しで見守られていること等、地域と共にある学校に通う児童生徒は幸せだと実感しております。

さて、4月6日には、無事に令和8年度の新学期をスタートすることができました。本当に幸せなことだと思います。ご家庭・地域の皆様など熱心に、そして温かく学校をご支援していただいたことをありがたく思っています。心より感謝申し上げます。

今年度は、転校生が1名加わり、全校児童生徒4名でのスタートとなりました。前期課程の児童が増えたことは、大変喜ばしいことです。義務教育学校の良さを生かす教育をしてまいります。今後も、珠洲市に残って学習することを選択した児童生徒、保護者の方々に珠洲市で学んでよかったと思っていたるように、また、他の地区の子どもたちに珠洲市で学びたいと思ってもらえるように工夫した教育を行います。

今年度の本校の学校教育目標は、ふるさとを基盤に人や社会とつながり未来を拓く児童生徒の育成～自ら学び、課題を発見し、協働して解決することで未来を拓く力を持つ児童生徒～です。

児童生徒に身につけたい資質・能力である「自他の生命を守り、しなやかに行動する力」「人や社会とつながり、支え合う力」「ふるさとを基盤に、未来を拓く力」が確実に身につくことを目指しています。副題の「自ら学び」というのは、自立した学習者を目指すということです。自らの力で課題を見出し、多様な他者と協働し、課題を解決する力をつけます。少人数の授業では、生徒はどうしても教師に頼りがちになる傾向があります。義務教育修了後は、自力で学習を進める力が求められています。そのためにも、基礎的な知識技能を活用して、課題解決のために必要な思考力・判断力・表現力等の能力を育むための個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実されるように教育課程において工夫することで資質・能力を身につけます。また、大谷小中の児童生徒はこれまで、「大谷ガチャ」や「人の輪」の取組で未来を切り拓いてきました。さらに、取組を進め、一步前進することで、よりよい未来を拓く力をつけていきます。

大谷の良さを学び、発信していくために、昨年度同様「まちの先生」として地域の方々に来校していただくことも計画しております。どうぞ、今年度もご家庭・地域の皆様のご支援をなにとぞよろしくお願いいたします。



令和8年度始業式 式辞

桜のつぼみが色づいてきました。海の色が明るい青になっています。こういう自然の変化に、私は「春だな」と思います。みなさんは、どんな時に春を感じますか。春は自然が目覚める季節。新しいことが始まる季節だと思えます。皆さんも、それぞれ一学年ずつ進級し、新しい先生方を迎え、新たな一年が始まります。とてもワクワクした気持ちになりますね。

みなさんはきっと、「今年度はこういうことを頑張りたい」「3月には、こういう姿になりたい」という目標を持っていることと思います。そこで、始業式にあたり、皆さんに「初心忘るべからず」という言葉について話をしたいと思います。

この言葉は、室町時代の能楽師、世阿弥（ぜあみ）の言葉です。みなさんは、世阿弥という方を知っていますか？社会の授業で学習したのではないかと思います。さて、この言葉は、単に「始めた頃の謙虚さを忘れない」という意味だけではありません。世阿弥はこの言葉に三つの意味があると言っています。一つ目は、仕事や趣味に慣れてくると、誰でも自信がつき、油断や慢心が生まれます。それを防ぎ、最初の「上手になりたい」「真剣にやりたい」という気持ちを持ち続けることです。二つ目は、上手になった今も、過去の「下手で悔しかった時」や「恥ずかしかった時」を思い出すことで、謙虚な気持ちになれるということです。三つめは、若い頃だけでなく、年齢や段階に応じて新しい課題（＝その時々々の初心者）が現れるため、死ぬまで初心は続くということです。生徒の皆さんだけではなく、私も「初心忘るべからず」だと思っています。一緒に頑張りたいと思います。

さて、今年度は、「少人数でもできる。少人数だからこそできる。プラス一歩前進」をスローガンに、更に取り組を進めていきたいと考えています。後期課程の皆さんとは、昨年度、「一歩前進プロジェクト」について考えました。皆さんの意見を大切に、学校経営に反映させていきます。これからはホワイトボードミーティングで話し合いをし、これからの学校経営に参画してください。また、みなさんの願望である、「大谷に人を増やす。」「大谷小中に児童生徒を増やす。」ためのプロジェクトも始めたいと考えています。具体的には、学校の商業動画の作成です。大谷小中学校のメンバーが力を合わせれば不可能はないと信じています。実り多い一年にしていきましょう。



日	曜日	学校行事等
1	金	街頭指導、職員会議②、児童生徒集会①
4	月	鯉のぼりミニフェスティバル
7	木	全国学力調査〈英語〉話すこと調査日（9年生）
8	金	朝会①・避難訓練（土砂災害）、県基礎質問 CBT 調査（9年生） げんきもりもりチェック（～16日）
9	土	奥能登大会（穴水勤労者センター）（後期課程）
11	月	学校運営協議会① 学校関係者評価委員会① 創立10周年記念式典実行委員会
15	金	街頭指導、テスト範囲発表、ホワイトボードミーティング
16	土	黒米田植え
17	日	黒米田植え（予備日）
25	月	中間テスト①（後期課程）
26	火	中間テスト②（後期課程）
27	水	児童生徒会委員会②、伝承太鼓開校式





■鯉のぼり製作スタート（8日）

大谷鯉のぼりミニフェスティバルに向け、鯉のぼり制作が始まりました。今年のテーマは「大谷の空と海」です。9年生が中心となってアイディアスケッチをまとめ、全校で協力しながら下書き作業に進んでいます。子どもたちが力を合わせて形にしていく過程には、学年を越えたつながりが感じられます。完成した鯉のぼりが、5月4日の空を彩る日が楽しみです。



■国際交流で広がる学び～ミシガン大学生塩田村訪問～（9日）



塩田村を訪れたミシガン大学の学生に向けて、8・9年生が揚げ浜式塩づくりについて英語で説明しました。9年生が昨年度のスピーチコンテストで最優秀賞を受けた学習を発展させ、8・9年生で協力して準備に取り組みました。初めての国際交流に緊張しながらも、自分の言葉で伝えることができたことに大きな達成感を得た様子が振り返りから伝わってきました。貴重な経験が今後の学習につながる機会となりました。

■命を守る行動を学ぶ一日（10日）

珠洲警察署の方を招き、避難訓練と交通安全教室を実施しました。新学期の初めに、自分の命を守る行動について改めて考える機会となりました。避難訓練では状況に応じた判断の大切さを学び、交通安全教室では自転車利用の責任や「自転車安全利用五則」について理解を深めました。生徒からは、冷静に行動できたことや、ヘルメット着用の重要性を再確認したという振り返りが寄せられ、学びの広がりが感じられました。



■読書記録で学びをつなごう～図書オリエンテーション～（13日）



学校司書による図書オリエンテーションを行いました。図書室利用のルールに加え、読書の習慣化につながる「記録の付け方」についても丁寧に共有しました。子どもたちは普段から朝読書の時間、じっくりと読書にいそしんでいます。このオリエンテーションを機に、子どもたちがさらに自発的に本を手に取り、読書を通じて想像力や知識を広げていけるよう、サポートしてまいります。

■米づくりの第一歩～黒米の苗づくり～（14日）

今年も黒米苗づくりに挑戦しました。籾種の選別をするために塩水を作ったり、消毒するために60度のお湯に浸けたりと理科や数学の学びも生かしながらの会話も弾みました。籾種から育てるのは大変ですが、その分愛着もわきます。それぞれの苗床には「わくわくファーム」などオリジナルの名前をつけていました。元気に芽を出して、ぐんぐん成長してほしいものです。



他の行事や学校生活は、
大谷小中学校の
ホームページで
ぜひご覧ください！

今月の
いじめの認知件数は
0でした。

令和8年度 学校組織

校長	鎌田 香		事務主査	清水 文恵
教頭	谷内 恵子	国語(8・9年)、書写(3年)	業務主任	瀧下 良孝
教務	嶋垣 麗子	英語(8・9年)	スクールカウンセラー	柘蔵美智子
3年担任	山岸 久子		スクールカウンセラー	佃 菜穂
8・9年担任	南 豪史	数学(8・9年)	図書館司書	諸岡 和典
8・9年副担任	井関 美穂	理科(3・8・9年)技術・家庭(8・9年)	ALT(後期)	ジャンニ・アリエル・シェンド
8・9年副担任	吉田 陸人	社会(8・9年)	部活動指導員	谷内 正美
非常勤講師(兼務)	八木 豊	保健体育(8・9年)	校医	道下 秀信
教諭(兼務)	正木 晴香	美術(8・9年)	校医(耳鼻科)	柘田 耕
教諭(兼務)	下道 善信	音楽(8・9年)	歯科医	中谷 静子
教諭(兼務)	寺井 精二	初任者研修拠点校指導員	薬剤師	星野 遙
養護助教諭	松田 奈々			

谷内 恵子

四年ぶりに
大谷へ戻って
まいりました



た。少人数だからこそその丁寧な対話や深い学び合いに毎日喜びを感じています。一人ひとりの思いがしっかり届き、仲間と共に成長していける学校づくりを、地域の皆様と力を合わせ進めてまいります。

嶋垣 麗子

大谷の自然
の美しさ、学
校の木のぬく



もり、地域の方の温かさなどにとっても新鮮な気持ちとありがたい気持ちでいっぱいです。この真新しい環境の中で、素晴らしい子どもたちと出会い、一緒に学べることを心から楽しみにしています。

吉田 陸人

生まれも育
ちも金沢で、
3月まで金沢



で暮らしていました。珠洲で過ごすのは初めてで、わからないことだらけですが、どのような経験ができるのだろうかと思うことができたら良いなと思っています。

山岸 久子

20年前に大
谷中学校で勤
務していまし



た。再び、この地で勤務できることをとても懐かしく、とてもうれしく思います。

今年度は、前期課程を担当します。たくさんの体験活動ができたらいいなと思っています。保護者や地域の方のご協力をお願いいたします。

松田 奈々

この3月に
大学を卒業し
たばかりで、



大谷小中学校が私にとって初めての勤務校となります。不安な気持ちもありますが、大谷小中学校の子どもたちが元気いっぱいに過ごせるように、頑張ります！

八木 豊

保健体育
を担当いた
します。子



どもたちが体を動かす楽しさや仲間との関わりを大切にしながら、一人ひとりの成長に寄り添い、笑顔あふれる学校生活につながるよう努めてまいります。どうぞよろしくをお願いいたします。

寺井 精二

初任者指
導を担当し、
毎週金曜日



に勤務します。30代前半に西部小で勤務し、素敵な子どもたちと出会い、熱心な保護者や地域の方々に支えていただきました。この大谷でまた勤務できることに感謝しています。

このたびご縁をいただき、大谷小中学校で皆様と共に歩ませていただくことになりました。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

